



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野弘一 (TEL) 06-6532-4101
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,188	△0.2	73	98.9	80	115.2	66	—
25年3月期第2四半期	3,195	2.4	36	139.2	37	140.9	△20	△80.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年3月期第2四半期	1.07		—					
25年3月期第2四半期	△0.33		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	5,654		1,991		35.2
25年3月期	5,403		1,843		34.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,991百万円 25年3月期 1,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00			
26年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	1.0	70	2.2	60	11.6	50	5.6	0.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	62,280,394株	25年3月期	62,280,394株
26年3月期2Q	98,869株	25年3月期	96,848株
26年3月期2Q	62,182,387株	25年3月期2Q	62,185,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、円安・株価高が進行し、輸出企業を中心に業績の回復傾向が見受けられます。しかしながら、円安が原材料コストや物価の押し上げとなる面もあり、先行き不透明感も残る状況が続いております。

当業界におきましては、今後の荷動き活発化の期待はあるものの、低価格化競争が続き、楽観視できない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、引続き受注の拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。低採算の賃借施設の返還をはじめとした経費削減により、損益分岐点を下げております。

前第2四半期累計期間と比べ、円安の影響が徐々に浸透し、比較的採算の良い輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

また、特別利益として、固定資産売却益98千円、投資有価証券売却益1,376千円、合計1,475千円を計上し、特別損失として、保有する非上場銘柄の投資有価証券評価損2,499千円を計上しました。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は3,188,506千円で、前年同四半期と比べ7,212千円(0.2%)の減収、営業利益は73,489千円で、前年同四半期と比べ36,539千円(98.9%)の増益、経常利益は80,698千円で、前年同四半期と比べ43,201千円(115.2%)の増益となりました。四半期純利益は66,572千円となり、55,161千円の投資有価証券評価損を計上した前年同四半期と比べ、87,258千円(前年同四半期は△20,685千円)の増益となりました。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

① 港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、3,054,819千円で、前年同四半期と比べ10,108千円(0.3%)の減収となり、全セグメントの95.8%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は226,627千円で、前年同四半期と比べ28,959千円(14.6%)の増益となりました。

② 自動車運送事業

当セグメントにおきましては、堅実な業績改善を図ることができました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、128,848千円で、前年同四半期と比べ4,254千円(3.4%)の増収となり、全セグメントの4.0%を占めております。

セグメント利益は、9,790千円で、前年同四半期と比べ14,888千円(前年同四半期は△5,098千円)の増益となりました。

③ その他

当セグメントでは、輸入関連の荷動きが減少したことにより、海上保険収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入は、4,838千円と前年同四半期と比べ1,358千円(21.9%)の減収となり、全セグメントの0.2%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、4,748千円で、前年同四半期と比べ1,369千円(22.4%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第 2 四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より 160,856 千円増加して 3,298,401 千円となりました。これは営業未収入金の増加 104,045 千円、立替金の増加 52,538 千円等によるものであります。

(固定資産)

当第 2 四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より 87,844 千円増加して 2,345,414 千円となりました。これは株価の上昇による投資有価証券の増加 89,093 千円等によるものであります。

(繰延資産)

当第 2 四半期会計期間末における繰延資産は、前事業年度末より 2,448 千円増加して 11,178 千円となりました。これは社債発行に伴う社債発行費の増加 2,448 千円によるものであります。

(流動負債)

当第 2 四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より 6,799 千円増加して 2,101,594 千円となりました。これは営業未払金の増加 51,881 千円、預り金の減少 17,110 千円、未払金の減少 13,597 千円等によるものであります。

(固定負債)

当第 2 四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より 96,584 千円増加して 1,561,835 千円となりました。これは社債の増加 82,650 千円、長期借入金の増加 18,166 千円等によるものであります。

(純資産)

当第 2 四半期会計期間末における純資産は、前年事業年度末より 147,765 千円増加して 1,991,563 千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加 81,260 千円、繰越利益剰余金の増加 66,572 千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年 3 月期第 2 四半期累計期間 業績予想値と決算値との差異

(平成25年 4 月 1 日～平成25年 9 月 30 日)

	営業収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	40	40	30	0 48
今回発表予想(B)	3,188	73	80	66	1 07
増減額(B-A)	△ 12	33	40	36	—
増減率(%)	△0.4	82.5	100.0	120.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成25年3月期第 2 四半期)	3,195	36	37	△20	△0 33

平成25年11月11日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しておりますように、平成25年 5 月 14 日の「平成25年 3 月期決算短信」で公表いたしました平成26年 3 月期第 2 四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益及び 1 株当たり四半期純利益の業績予想値と決算値との差異が発生しております。これは、低採算の賃借施設返還をはじめとした経費削減及び比較的採算のよい輸出関連の収入が円安等の影響で増加したこと等によるものです。

なお、平成26年 3 月期通期の業績予想につきましては、中国の旧正月に伴う荷動きの減少に起因する第 4 四半期の業績落ち込みが年々拡大傾向にある等の不確定要因が大きいため、現時点においては変更しておりません。

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,038,697	2,041,966
受取手形	6,107	2,781
営業未収入金	684,888	788,933
立替金	354,060	406,599
その他	61,980	67,581
貸倒引当金	△8,190	△9,460
流動資産合計	3,137,544	3,298,401
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	201,478	193,480
構築物 (純額)	2,552	2,476
機械及び装置 (純額)	19,114	16,719
車両運搬具 (純額)	48,808	40,161
工具、器具及び備品 (純額)	10,619	10,102
土地	576,183	576,183
リース資産 (純額)	27,584	33,854
建設仮勘定	4,500	—
有形固定資産合計	890,841	872,978
無形固定資産		
のれん	391,034	377,068
その他	103,282	109,641
無形固定資産合計	494,316	486,710
投資その他の資産		
投資有価証券	669,293	758,387
差入保証金	99,194	99,633
その他	384,739	403,493
貸倒引当金	△280,815	△275,788
投資その他の資産合計	872,412	985,725
固定資産合計	2,257,569	2,345,414
繰延資産		
社債発行費	8,730	11,178
繰延資産合計	8,730	11,178
資産合計	5,403,844	5,654,994

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	47,874	42,493
営業未払金	479,705	531,586
短期借入金	648,600	655,000
1年内償還予定の社債	92,100	113,400
1年内返済予定の長期借入金	605,577	579,710
未払金	75,842	62,244
未払法人税等	13,682	16,900
賞与引当金	34,453	34,790
その他	96,960	65,470
流動負債合計	2,094,795	2,101,594
固定負債		
社債	296,850	379,500
長期借入金	887,975	906,142
退職給付引当金	175,572	181,268
その他	104,854	94,925
固定負債合計	1,465,251	1,561,835
負債合計	3,560,046	3,663,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,466	433,446
資本剰余金合計	747,771	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,152,310	△1,085,737
利益剰余金合計	△1,146,454	△1,079,881
自己株式	△10,371	△10,419
株主資本合計	1,985,344	2,051,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△141,545	△60,285
評価・換算差額等合計	△141,545	△60,285
純資産合計	1,843,798	1,991,563
負債純資産合計	5,403,844	5,654,994

(2) 四半期損益計算書
第 2 四半期累計期間

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
営業収入	3, 195, 718	3, 188, 506
営業原価	2, 997, 030	2, 947, 248
営業総利益	198, 688	241, 257
販売費及び一般管理費	161, 737	167, 768
営業利益	36, 950	73, 489
営業外収益		
受取利息	104	86
受取配当金	11, 693	11, 194
貸倒引当金戻入額	115	—
雑収入	18, 129	22, 056
営業外収益合計	30, 043	33, 337
営業外費用		
支払利息	27, 945	24, 492
社債発行費償却	167	1, 151
雑損失	1, 384	484
営業外費用合計	29, 497	26, 129
経常利益	37, 496	80, 698
特別利益		
固定資産売却益	685	98
投資有価証券売却益	—	1, 376
特別利益合計	685	1, 475
特別損失		
固定資産除却損	255	—
投資有価証券評価損	55, 161	2, 499
特別損失合計	55, 416	2, 499
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△17, 234	79, 673
法人税、住民税及び事業税	3, 451	13, 100
法人税等合計	3, 451	13, 100
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△20, 685	66, 572

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。